

■ 価値組プロジェクト

マーケティングメニュー
新設

当社の事業内容も少しずつ形を変えたり、追加しております。昨年は、webやITを活用する新たなサポートメニューとして「マーケティング」として新設しました。その趣旨は、費用対効果が高く、継続して頂くことで効果や効能が蓄積して頂けることです。外部の広告依存度を下げて、自らの経営力を高めて頂くため5つのサービスを始めました。

① 助成金無料診断サービス

現在、「補助金申請支援」は行っておりますが、「助成金申請支援」は行っておりません。そこで、どのくらいの助成金が受給できそうか診断するサービスを開始しました。申請開始するまでは費用は一切発生しません。

② MEOサービス(0円～成果報酬型)

広告を出すよりも安価にお店の知名度向上と集客力アップを目指します。Googleマップ上位表示で集客力がUPすると検索件数が50倍にもなります。経験豊富な専門スタッフが個別に対策しますので、店舗知名度を向上させながらコストが抑制できます

③ STORE LINK

Instagram投稿とGoogleビジネスプロフィール(Googleマイビジネス)を自動連携するサービスです。集客の為に日々更新しているInstagramの投稿が自動的に店舗のGoogleビジネスプロフィールに即時反映されるため、Google検索での表示順位が上がりやすくなります。Instagram投稿を継続することで効果が得られます。

④ SEOサービス(0円～成果報酬型)

広告に頼らず対策キーワードの上位表示を目指して頂くものです。対策キーワードの75%が10位圏内の技術力、サテライト構築のクオリティの高さを活かして、検索順位が1位～10位に表示されるまで課金不要です。

⑤ Webサイト制作・分析・集客サポート

多くの事業者はWebサイトは開設されていると思われるが、そのサイトを分析して、改善、集客活動まで結びつけているケースは多くないです。よって分析を重視してフィードバックしております。セカンドオピニオンのようにご意見を聞いて頂けます。

<https://kachigumi-project.com/marketing/>



価値組プロジェクト

ニュースレター
vol. 19 2023年1月発行

新年号

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。いつも年始に合わせて「ニュースレター新年号」として送らせて頂いていましたが、今回は、遅くなりまして新年が落ち着いたタイミングでのご挨拶となりました。バタバタしながら、おかげさまで何とか1年間を過ごすことが出来たと感じております。2022年もお会いできない方が多かったので、そのあたりも振り返りながら書いていきます。

■ 2022年の振り返り

数年ぶりに年始の挨拶に伺いたいと考えていましたら、再びのコロナ感染拡大で取りやめ、また振り出しに戻ったような状況でした。リアルな交流が少ないままで、個人ごとや小規模程度の集まりで、短時間なのでお会いした方の記憶薄くなるのが気がかりでした。みんなどうしているんだろう？

年初は、冬季オリンピックが盛り上がりましたが、ロシアによるウクライナ侵略があり、いろんな影響が出ましたよね。エネルギー問題や食料品等の価格上昇が続き、コロナの影響とは違うものが新たに加わっていると思う。

ビジネス面では、「GX(グリーン・トランスフォーメーション=脱炭素化)」と「DX(デジタルトランスフォーメーション=デジタル技術活用)」に加え、「物価高などの経済環境変化」を意識する感じでした。それ以外にも最近の物価高、仕入れ価格、資材調達、納期など高騰や長期化はひどいと言えない感じがした。ご苦労されている現場の話や、ビジネスモデルを変えることも必要になると更に感じたところ。

■ 2023年の取り組み

新型コロナの感染症法上の位置づけが、インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方向と検討されていることや、マスクを外した活動となることは個人的に歓迎します。「マスク外しても良いですよ」と言われても、みんなが外すとは思わないが、「外してよい大義」があれば徐々に広まっていこうと感じます。個人的に子供たちのコミュニケーションスキルの醸成に影響が出ないようしてほしいと思う。

ビジネス面では、オンライン体制でも仕事をする事が多くなってきたので、社内関係者や協力者にもオンラインツールの活用を広げて行きたいと考えています。そのために実験的に自社(自身)で取り組んでいるところもありますが、いろんなツールがあり、新しいサービスもたくさん出ていますので正直よく分からないことも多いのです。もっとスマートに理解して、情報などを効率的に吸収できるように取り組みたいと思っています。

～編集後記～ 初詣・笠崎宮(福岡県福岡市)



2023年の初詣は、福岡の笠崎宮に初めて行きました。ご覧のように多くの人出があり、結構な行列でした。行動制限がない年末年始ということで、遠出や帰省などされた方が多かったのではないのでしょうか。コロナ前よりは人出はマダ少ないと思いますが、徐々に増えていると感じました。また、福岡の立地特性から韓国らしき方のハングル語を耳にすることが多かったかな。

屋台もたくさん並んでいて、「広島風お好み焼き」と掲げている店もありました。写真には撮りませんが、「広島のお好み焼きとは全然違うじゃん」と思いながら眺めました。皆さん！くれぐれも、これが広島のお好み焼きだと思わないでください(笑)



目次

① 取り組み事例の紹介 ベンチャープラン受賞

第29回ひろしまベンチャー助成金
レトリュション株式会社様を支援



② 取り組み事例の紹介

新サービス提供に向けて
新たな作業環境を新設
(事業再構築補助金)



③ 取り組み事例の紹介

付加価値や生産性アップに向けて
デジタル技術を活用する設備導入
(ものづくり補助金)



株式会社 価値組プロジェクト

〒730-0005 広島市中区西白島17-7 シャルマン白島502

TEL 082-211-1133 FAX 050-3588-1896

<https://kachigumi-project.com>

akii@kachigumi-project.com

編集発行：秋井正宏



中小企業診断士 (406434)
喇酒師 (SSI認定31385)



国内旅行業務取扱管理者 (24-44-4952)
経営革新等支援機関 (100934005011)



2022年（令和4年）コロナ禍の3年目での企業様の取り組み、弊社の支援事例のご紹介

■ 広島県広島市 / ㈱ブラックシャド―
（自動車整備業）

事業再構築補助金
（新分野展開）

コロナ禍になって多い取り組みの一つが、事業再構築補助金を活用した新しい取り組みをおこなうものです。これまでにいろんな補助金を活用した支援策はたくさんありましたが、用途の制約が多かったり、費用面の負担があるなか、事業再構築補助金は、画期的な取り組みが見られます。反面、初めてすぎて、戸惑うことや、振り回されることも多々！ありました。

そのような中、自動整備業に属する自動車用品等の卸売、車両整備を行われていた㈱ブラックシャド―様による、コロナ対応に向けた塗装環境の新設というものです。自動車販売や整備を行う事業者は、たくさんあると思います。今回は、一般自動車の用品販売や車両整備等から大型車塗装に新分野展開に取り組まれました。この新たな環境を構築したことで、一般車両以外に大型車両などにも対応できる塗装機能を整備することが可能となり、コロナの影響で少人数やグループでの移動ニーズに対応したワンボックスカー、キャンピングカー、キッチンカーなどの大型車両の整備や塗装等を新たに展開されることになりました。

自動車業界は、ガソリン車から電気自動車など、これまでの仕組み自体を大きく変えるような時期に来ており、環境も激変していると思う。広島は、マツダ車が誕生した地域でもあり、自動車関連産業は多いです。関連事業者にとって、どのようにして生き抜いていくべきか経営者も考えを整理していく必要があると思うので、「事業再構築補助金」なども効果的に利用して頂きたいと思います。



■ 山口県岩国市 / ㈱上村土木興業
（建設業）

ものづくり・商業・サービス
生産性向上促進補助金



今回は、㈱上村土木興業様のデジタル化支援のご紹介です。建設重機にもデジタル化の流れは加速しています。外観からは普通の建設重機にしか見えませんが、本体はコンピュータ制御されていて、クラウドで事務所のPCと連携するなど、高性能なデジタル機器に近いイメージです。

多様な機能があり、効率性を高めるのは当然ですが、経験の浅い作業者の早期の戦力化や、作業そのもの（機械操作）をアシストしてくれる仕組みなどもあり、これから広く普及していくのだろうと感じます。

こちらのモニターには、衛星からの位置情報と現場の図面情報が合わさって表示されます。冷静に考えたら、すごい技術なのだなと感じますよね。



このようなIT活用をより進める方向性は、近年は「DX推進」というキーワードに表れていると思います。DX推進とは、「データやデジタル技術を駆使して、ビジネスに関わるすべての事象に変革をもたらす」と言われています。どの業界にも新しい設備や機能が増えてくる中、適切に設備投資を行っていくことも大切ですし、先を見据えた取り組みは特に重要だと感じます。建設業界の事業者による新たな取り組みや構想があれば、一緒に考え行きましょう。

株式会社上村土木興業（土木工事）
山口県岩国市周東町祖生字長迫5564
TEL:0827-85-0602

■ 広島県熊野町 / レトリューション㈱
（製造業）

第29回ひろしまベンチャー助成金
2022.12.5 受賞



新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を評価する「ひろしまベンチャー助成金」の申請において、当事務所に申請支援させて頂いたレトリューション株式会社（代表取締役 上向井 潤氏）が奨励賞を受賞されました。

事業内容は、レトルト製品をつくるための専用装置（＝製品名レトリューション）を開発され、製造、販売されています。長い年月、研究されて2022年に装置をリリースされて販売が始まったところです。



現在、レトルト製品をつくる加工工程は、特殊であり、既存装置は大型で、非常に高価なものでした。新しい概念でレトルト製品をつくる仕組みを開発され、大幅な小型化と時間短縮が実現されました。

社長と一緒に事業構想をビジネスプランに落とし込んでいくなかで、今回の装置の小型化により、コスト的に中小企業や食品関連の事業者自らが導入して頂くことも可能となったのは大きな効果があると感じました。ここだけでは書ききれませんが、多くの用途が想定される良い製品だと思っので気になった方は、お問い合わせください。

会社名：レトリューション株式会社
住所：広島県安芸郡熊野町城之堀9-1-7
TEL:082-824-8848
https://retolution.co.jp/



野菜なども
レトルト加工が
可能



2022年（令和4年）の補助金活用、採択事業者の業種例（認定支援機関：価値組思考コンサルティング秋井正宏）
・ものづくり補助金（第8次～第12次）・事業再構築補助金（第4回～第7回）

補助施策	業種
ものづくり補助金 第12次	総合工事業
ものづくり補助金 第12次	製造業（製缶）
事業再構築補助金 第7回	不動産業
事業再構築補助金 第7回	宿泊業（ホテル）
事業再構築補助金 第7回	リフォーム業
事業再構築補助金 第6回	自動車整備業
ものづくり補助金 第10次	建設業、土木工事業
事業再構築補助金 第5回	電機整備業
ものづくり補助金 第9次	土木工事業
事業再構築補助金 第4回	木造建築業
事業再構築補助金 第4回	自動車整備業
ものづくり補助金 第8次	総合工事業
ものづくり補助金 第8次	自動車整備業

多様な業種の事業者が、新分野展開や業種転換などに取り組まれています。新たな取り組みについて、補助施策の利用から実施までサポートしております。

